

令和6年度使用小学校教科用図書採択結果

採択地区名

八峰町

種目	区分	令和6年度使用教科書 発行者名
国語		光村図書出版株式会社
書写		光村図書出版株式会社
社会		東京書籍株式会社
地図		株式会社帝国書院
算数		東京書籍株式会社
理科		東京書籍株式会社
生活		東京書籍株式会社
音楽		株式会社教育芸術社
図画工作		開隆堂出版株式会社
家庭		開隆堂出版株式会社
保健		東京書籍株式会社
外国語		東京書籍株式会社
特別の教科	道徳	株式会社Gakken

令和6年度使用小学校教科用図書採択理由

教科	会社名	採 択 理 由
国 語	光村図書	各単元に「問いをもとう」を掲載し、児童の問題意識と単元の目標をつなげることで、資質・能力を明確にし、言語活動の必要感が高まるよう工夫されている。また、種々の図表や思考ツール等を単元の手引きや巻末等に提示することにより、児童が思考を整理したり深めたりする際に、目的に応じて活用できるよう工夫されている。
書 写	光村図書	キャラクターを用いて、運筆の仕方が視覚的に理解できるように示すなど、書くことへの意欲が高まるよう工夫されている。また、なぞり書きや空書き、図の観察や比較を通して、児童が文字の整え方の原理・原則に気付き、学習の目標を明確にもつことができるよう工夫されている。
社 会	東京書籍	「まなびのポイント」として、「つかむ」「調べる」「まとめる」段階の学習活動をそれぞれ例示し、単元を通して主体的・対話的で深い学びにつながるよう構成されている。また、学習場面に応じた「まなび方コーナー」を示したり、表現力を高めるために様々な表現活動の例を提示したりする工夫がされている。
地 図	帝国書院	主題図を見開きで掲載し、関連する写真や資料を周りに配置するとともに、土地の高さと使われ方による色分けを組み合わせることで、人々の暮らしを読み取ることができるよう工夫されている。また、児童が興味・関心をもって学習に臨むことができるよう、親しみやすい絵記号やイラストが多く配置されている。
算 数	東京書籍	既習の内容を生かして問題発見・解決する過程を重視した数学的活動が示され、数学的な見方・考え方を働かせながら学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、学習の動機付けや思考を支援するQRコンテンツを設定している箇所にマークを付し、ICTのよさを生かして学びを深めることができるよう工夫されている。
理 科	東京書籍	具体的な活動や写真資料の提示により、児童が問題をつかみ、自らの予想をもって観察、実験に取り組むなど、主体的な問題解決の活動が展開できるよう工夫されている。また、働かせる理科の見方・考え方を示したり、学びを支援するデジタルコンテンツを配置したりすることで、主体的に問題解決に取り組めるよう工夫されている。
生 活	東京書籍	児童が生活科の見方・考え方を生かしている姿を学習過程に沿ってイラスト等で例示したり、児童の気付きを吹き出しで表現したりすることで、気付きの質を高められるよう工夫されている。また、他教科で身に付けた資質・能力を生かす場面を具体的に例示するなど、連携や接続がイメージできるよう配慮されている。

教科	会社名	採 択 理 由
音 楽	教育芸術社	学習のねらいを達成するために児童に考えさせたいことや、大切なこと等を吹き出しで示すことで、対話的な学びや言語活動の充実を図っている。また、巻頭の「学習マップ」で1年間の見通しをもったり、巻末の「ふり返りのページ」で学習した内容を確認したりできるよう工夫されている。
図 画 工 作	開隆堂	育てたい資質・能力がキャラクターを用いて象徴的、重点的に題材のめあてに示されていることで、題材でどんな力を身に付けるのかを児童が把握し、見通しをもって学びに向かうことができるようにしている。また、製作の手順や、使用する道具や材料等を示すことで、児童が見通しをもち、主体的に活動や作品づくりに取り組めるよう工夫されている。
家 庭	開隆堂	「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の三つのステップで学習を積み重ねることで、児童自身が学び方を身に付けることができるよう配慮されている。また、学習したことを更に深めることができるように、家庭や地域での主体的な実践につなげる発展的な内容を多く掲載するなど、資料の構成が工夫されている。
保 健	東京書籍	めあての横に評価規準を示すマークを記し、身に付ける資質・能力が意識できるように工夫されているとともに、他教科で身に付けた資質・能力を生かす場面が具体的に例示されている。また、児童の発達に配慮した適切な単元を構成するとともに、発問やコメント等により、気付きを引き出すよう工夫されている。
外国語	東京書籍	目的、場面、状況を明確にした言語活動が設定されており、必然性のあるコミュニケーションが展開できるよう工夫されている。また、単元の目標達成に向けて、4技能5領域を段階的にバランスよく配置し、各単元の最後に「読むこと」「書くこと」に関する学習を設定して、中学校へ円滑に接続されるよう配慮されている。
道 徳	学研	「いのちの教育」を最重点テーマとし、「生命の尊さ」について各学年に三つの教材を配置している。「ふかめよう」と「こころのパスポート」のページを適所に設けることで、児童が多面的・多角的に思考を広げられるよう配慮されている。また、教材やコラムに記述欄が多く、書く活動を通して考えが深められるよう工夫されている。